

# 平成27年度 見附市算数部 活動報告

部長 星 容子

## 1 研究主題

算数・数学の授業における授業改善のポイント

## 2 研究の概要

- 日時 平成27年8月20日（木）
- 会場 見附市立見附小学校 会議室
- 内容
  - ・グループ協議
  - ・講演「算数・数学の授業における授業改善のポイント」

## 3 研究の実際

- (1) 参加の各小学校6年生、中学1年生のWeb配信問題の結果をもとに、学年の傾向を分析
- (2) Web配信問題の結果から、すでに取り組んでいる授業改善の内容と、今後の課題
- (3) 講話「算数・数学の授業における授業改善のポイント」
  - ・授業改善ヒント集より
  - ・褒めることの意義
  - ・アクティブラーニングの内容と必要性



## 4 成果と課題

○授業中教師が発問した後、言葉の付け足しをしたり、言い直しをしたりするべきではない。子どもが考えている最中に発言することは子どもの思考を妨げることになる。発問や指示は予め書き出して、言葉を精選する。発問や指示の後少なくとも30秒間は発言しないようにする。

○幸せを感じると脳内でスピンドルニューロンという神経が伸びる。これは一度伸びたら縮むことがない。効果として、やる気が出る、ストレスに強くなる、我慢強くなる、などが期待できる。教師が学校生活において、子どもが努力したところを見付け、しっかりと褒めることが大切。この時、結果を褒めるのではなく、努力したプロセスを褒めることがポイントである。